

コロナ禍での進路決定状況と進路選びに関する調査

キャリアス進学では高校生の進路選択動向に関するアンケートを不定期に実施しております。

今回は全国のキャリアス進学会員の高校3年生（2021年3月時点）に進路決定状況とコロナ禍での進路選びについて尋ねました。

実査期間 : 2021年3月22日～2021年4月5日

調査方法 : インターネット調査

対象者 : キャリアス進学会員の高校3年生（*2021年3月時点）

有効回答数 : 341名

調査機関 : (株) ディスコ キャリアス進学編集部

1 進路決定状況

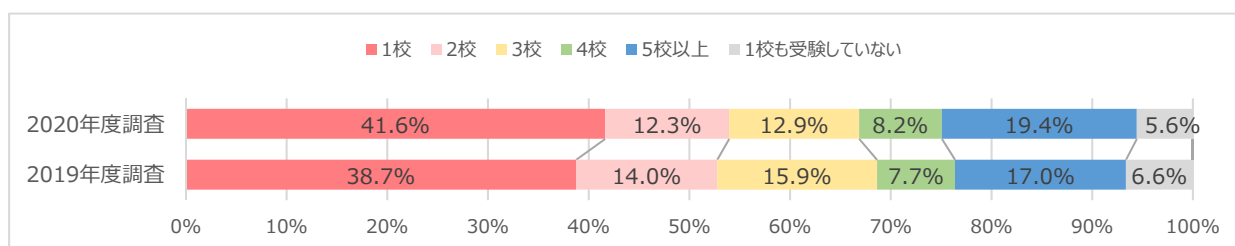
2021年3月時点の高校3年生に進路決定状況と受験校数を尋ねました。（N = 341）

(1) 2021年4月からの進路

	大学	短期大学	専門職大学・専門職短期大学	専門学校	その他の学校（大学校・各種学校等）	海外留学	就職	予備校・浪人	パート・アルバイト	その他
2020年度調査	76.2%	3.8%	0.9%	8.8%	0.6%	0.3%	1.8%	4.4%	0.9%	2.3%
2019年度調査	76.4%	3.0%	0.7%	8.1%	0.0%	0.4%	3.3%	5.9%	0.7%	1.5%

2019年度との比較で大きな変化はありませんが、「大学」が0.2ポイント減となった一方、「短期大学」では0.8ポイント増、「専門学校」は0.7ポイント増となりました。「予備校・浪人」は1.5ポイント減と、大学入学共通テスト実施前年で現役志向が強まった2019年度よりさらに減りました。また「就職」は1.5ポイント減とコロナ禍が影響したようです。

(2) 受験校数

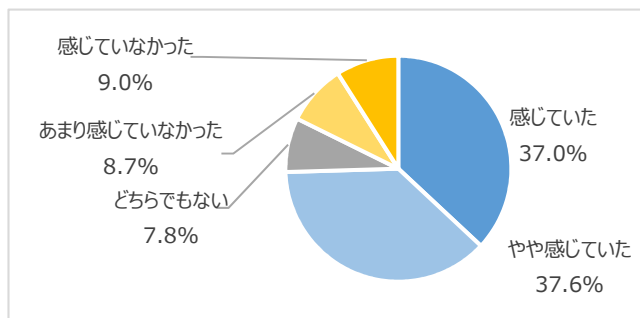


受験校数は「1校」と回答した割合が最も高く、2019年度と比べて2.9ポイント増えました。2校で1.7ポイント減、3校で3.0ポイント減となりましたが、5校以上は2.4ポイント増となりました。2020年度はコロナウイルス感染防止の観点や、コロナ禍での経済的理由などから、受験校数を絞った層と、多数校受験をした層で傾向がより分かれたようです。

2 新型コロナウイルス感染症流行下での受験に対する影響

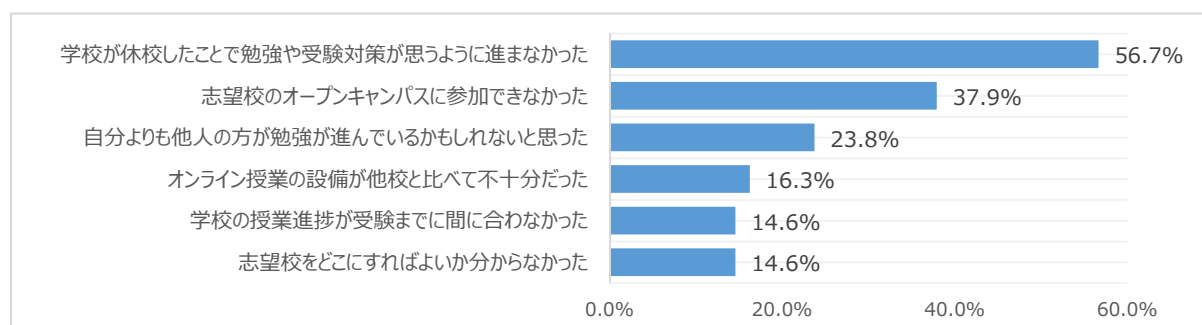
1校以上受験した高校3年生に、新型コロナによる受験への影響について尋ねました。(N = 322)

(1) 新型コロナウイルス感染症流行下での受験に対する影響



新型コロナによる大学受験への影響は、「感じていた・やや感じていた」の合計で74.6%と、多くの受験生が影響を感じていたと回答しました。

(2) 新型コロナウイルス感染症流行によって、受験で苦労したことや大変だったこと（抜粋）



苦労したことや大変だったことでは、「休校による勉強・受験対策が思うように進まなかった」(56.7ポイント)が最も高く、次いで「オープンキャンパスに参加できなかった」(37.9ポイント)となりました。

(3) 不安に思っていたことや悩み（自由回答）

センターから共通テストに変わる時で、学校では変換に合わせてテストも授業も苦労したのに結局振り回され、英語も外部試験が結局なくなったことで振り回された。挙句の果てにコロナで期待していたオープンキャンパスや進路イベントが全て中止に。

学校に行かなかった為に、受験生であるという実感が湧かず、なかなか受験生モードに切り替える事が出来なかったです。他の子達はもっと勉強してるかもしれないと不安になりました。

県立高校は自宅でのオンライン授業は全然出来ない。私立との差を感じた。自分で教材を使って、または塾の教材を使い自力での学習となり、遅れを感じた。結局自分でお金を出して塾の映像学習を買わなくては行けなくなった。

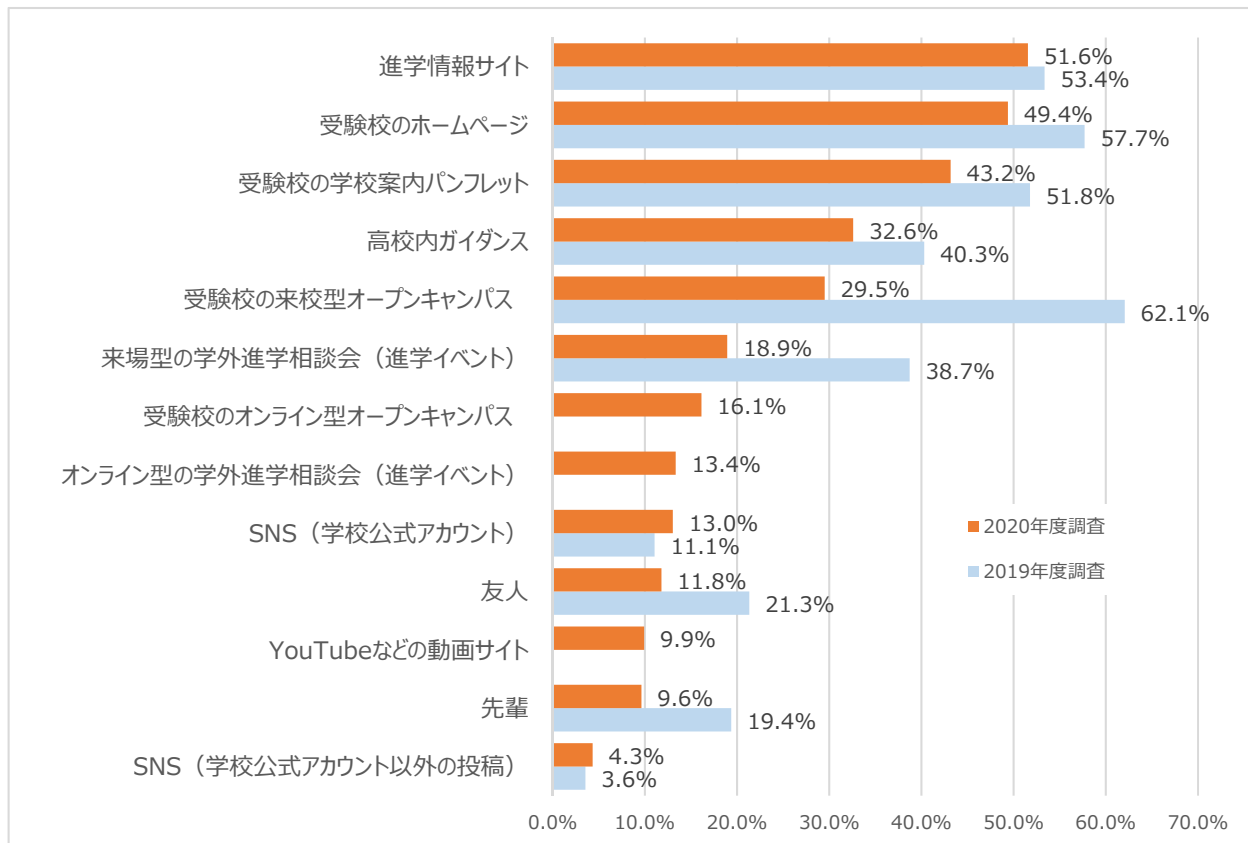
直前に入試情報が変わり、コロナ禍もあり、とても受験がストレスだった。都会のコロナ禍で田舎の地元志向が高まり、判定がほとんど役に立たなかった。

コロナの影響で、構内へ入れない大学もある状況だったので、受験する大学に見学すら出来なかった。また、見学は出来ても、対面授業は行われていない為、学生が誰もいない状態で、雰囲気全くわからない状態で志望校を決めなくちゃならなかった。

緊急事態宣言の発出が、どのくらい続くのか、また再度発出されるのか、オープンキャンパスが途中から参加出来なくなったり、入試が予定通り行われるのか、予定が未確定だった事が悩みだった。

3 受験に関する情報収集をする際に活用した情報源

1校以上受験した高校3年生に、受験校の情報収集に活用した情報源を尋ねました。(抜粋・N = 322)



※「受験校のオンライン型オープンキャンパス」「オンライン型の学外進学相談会 (進学イベント)」「YouTubeなどの動画サイト」は2020年度調査より新たに取得した項目。

2019年度と比較すると各項目のポイントが下がっていますが、特に「受験校の来校型オープンキャンパス」(32.6ポイント減)、「来場型の学外進学相談会 (進学イベント)」(19.8ポイント減) などリアル開催イベントの減少が顕著で、「受験校のホームページ」(8.3ポイント減)と「受験校の学校案内パンフレット」(8.6ポイント減)も減少が見られました。また「友人」(9.5ポイント減)、「先輩」(9.7ポイント減)も大きく減少しており、コロナ禍で人との接触機会が減った影響も見られました。

一方で「受験校のオンライン型オープンキャンパス」(16.1%)、「オンライン型の学外進学相談会 (進学イベント)」(13.4%)と、オンラインイベントで一定の回答割合がありました。

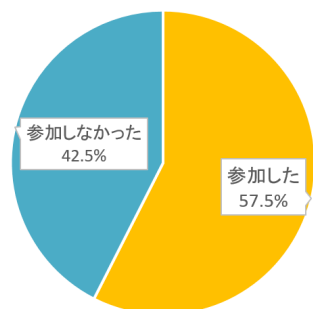
2020年度は、大学入試改革と新型コロナウイルス感染対策による入試要項の変更が相まって、オンラインの活用も一定数で見られたものの、例年に比べて入試情報の収集が難しく、全体的に情報が不足した中での志望校選択・受験となったようです。

4 オープンキャンパス参加状況

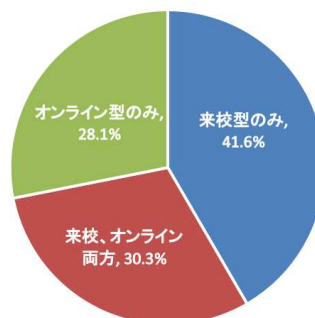
1校以上受験した高校3年生に、第一志望校のオープンキャンパス参加状況と、参加してみたの満足度や志望度合いの変化を尋ねました。(N=322)

(1) 参加状況

第一志望校へのオープンキャンパス参加状況

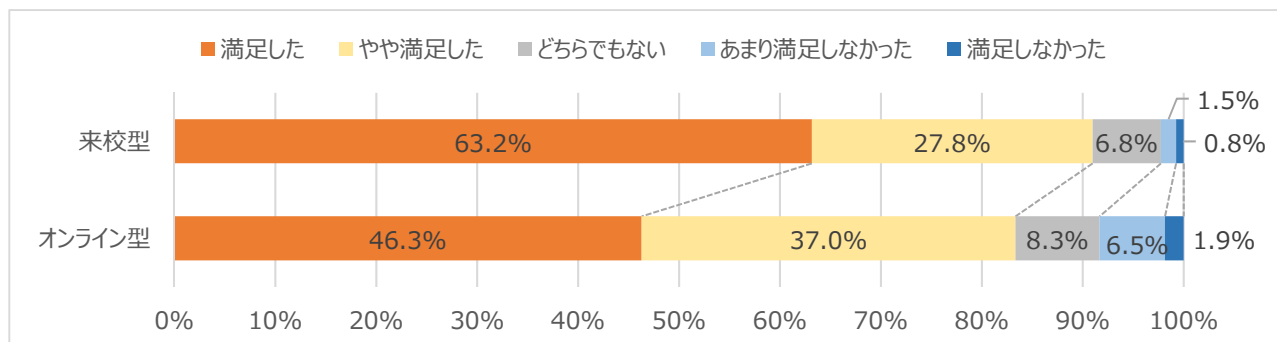


参加形態



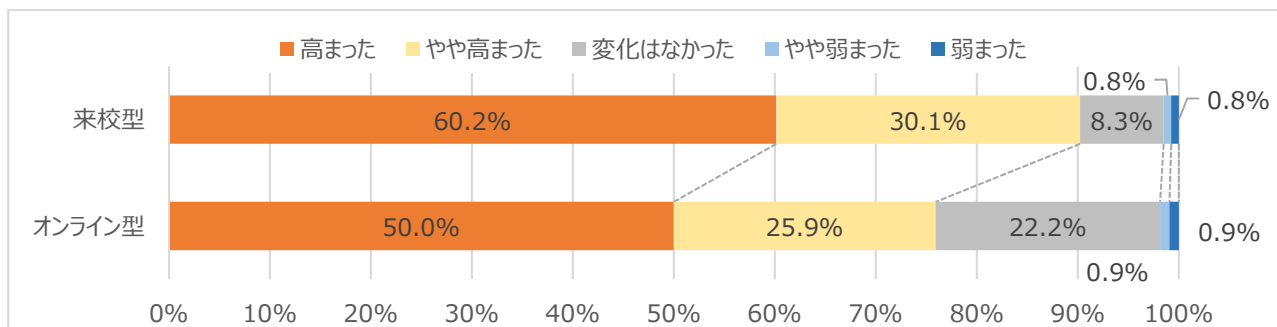
第一志望校の第一志望校のオープンキャンパスの参加率は約6割(57.5%)。参加者のうち来校型のオープンキャンパス参加割合は、7割に達していた(「来校型のみ41.6%」+「来校、オンライン型両方30.3%」)。

(2) 参加満足度



「満足した・やや満足した」の合計は来校型では91.0%、オンライン型では83.3%でした。

(3) 参加後の入学意欲



「高まった・やや高まった」の合計は来校型では90.3%、オンライン型では75.9%と14.4ポイント差でした。

オープンキャンパス参加後の満足度・入学意欲は来校型・オンライン型いずれも高い水準ですが、来校型のほうがより高まる傾向が見られます。